

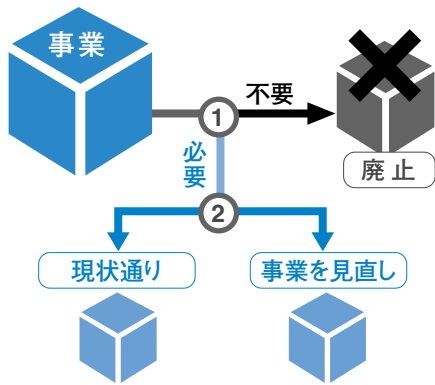
NEWS 01

市民参加による事業仕分けを実施

事業仕分けの様子は見学することができます

事業仕分けとは？

市の事業について、「そもそも必要があるのか」「より効率的にできないか」などの視点から点検していくものです。



① **必要性・有効性を検証**
「効果があるか?」「民間と競合していないか」などの視点から、事業の「要・不要」を決定します。

② **事業内容を検証**
もし「必要」となった場合は、実施方法や規模などを検証し、その事業を見直すか、現状通りに実施していくかを検討します。

どうやって行うの？

市職員が事業の説明をし、市民や学識経験者などからなる「仕分け人」の質問に答えます。その後、仕分け人同士での議論を行います。

仕分け人



2人

学識経験者



4人

市民



1人

司会進行



2~3人

市職員

1グループの構成は上の通り。3グループ体制で4日間をかけて約100の事業を検証します。

仕分け対象になっている事業の例

- ・健康づくりセンター運営管理費
- ・学校開放事業運営費
- ・ていねプール運営管理費
- ・消防音楽隊活動費
- ・札幌スタイル推進事業費
- ・視聴覚センター運営管理費

仕分けの様子を公開します

事業仕分けの話し合いの様子を見学できます。7月には市民意見を募集しますので、ぜひ見学してご意見をお寄せください。

日時 6月19日(土)、20日(日)、26日(土)、27日(日)
午前9時30分～午後5時。

会場 中央区北2西2 STV北2条ビル6階会議室。

申込 当日直接会場へ。

市民意見募集の詳細は、本誌7月号にてお伝えします。

市の仕事を点検する「行政評価制度」に、より一層の市民参加を進めていくため、市では市民による事業仕分けを行います。

これは事業の見直しを議論する場に市民が直接参加し、事業の必要性や担い手などを検証するもの。市民目線で見直しを行うことで、市民自治のさらなる推進や予算の効果的な配分を図ります。

参加する市民は、無作為抽

詳細 推進課 ☎(21) 2061

出された千人の中から参加の意思と年齢、性別によって選ばれた計四十八人。仕分けの対象事業は、昨年度、市民五千人に行った調査結果などから選定された約百事業です。

七月には仕分けの結果に対する市民意見を広く募集。市はそこで寄せられた意見も踏まえて、今後の予算編成や行財政改革の取り組みを進めていきます。

事業仕分けのこれまでと今後の流れ

22年 1月～3月	市民5,000人を対象に、市の約50分野の事業について満足度調査を実施
4月～5月	仕分け人となる市民48人を選考するとともに、市民満足度調査の結果を基に、市が約100の事業を選定
6月	市民参加による事業仕分けを実施
7月	市民意見を募集
23年 1月	事業仕分けや市民意見を基に、市の検討結果を公表。事業の廃止や見直しなどを実施

その後も行財政改革への反映を検討